

KTK ひゅうまん 京都

No. 560 2023年7月号

編集／京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内
編集発行責任者／池添 素 電話 090-1444-0046 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P 1 左大文字 あそび
- P 2 常任委員会から 池添 素
- P 3 一人暮らし始めます! 沖田 友子
- P 4 血の染みついたバトン 中村 暁
- P 5 電動車いす「まんまる号」ドライバー日記 山本耕平
- P 6 ジョニーの炸裂日記 ライスチョウジョナ
- P 7 つれづれあらぐさ 中山 恵美子
- P 8 2+2=詩 富士一文
- P 9 365歩のマーチ 安藤 史郎
- P 10 知っ得情報 松本 美津男

左大文字

▲2月の末だったか。市役所の支所の隣にある「まちの駅」に買い物に行った時、駐車場が満車のため待ったことがある。支所に人があふれ、どうしてかと聞くと、今日は申請するとマイナンバーカードに2万円のポイントがもらえる最後の日だと言われた。これだけの人数の申請を今日中に受け付けられるのか、役所の職員に同情した▲私は自分の情報を政府に提供するつもりがなく、申請していい。過去にも情報漏洩は多くあり、個人情報権力が掌握すれば、何をされるか不安だからだ▲最初は住民票がコンビニでも受け取れるという程度だったが、銀行口座や医療保険、年金などにも紐づけされた。いまメディアでも問題視されているのは、医療保険の紐づけによるトラブルである。患者と医療機関に深刻な不都合が起きているが、政府は「保険証の来年秋季廃止」と言い続け、任意のはずのマイナカードを事実上義務化している▲なぜなのか？マイナカードは、個人情報保護をビジネスに利用しようとする経済界の要求にこたえて2013年に始まったが、19年1月の交付率は12%にとどまっていた。これをポイント(カネ)の給付などの誘導策によって引上げようとしてきた▲重要なのは、現在の法律ではマイナカードを作成するのは個人の自由であり、国は強制できない。個人情報悪用されないためにも、申請しない自由が認められていることを確認しておきたい。

(あそぶ)



「ペンギン」
渡辺あひる

常任委員会から

〈天気がおかしい〉

「今日の気温は」とフツーに37度や38度が朝の天気予報の時に示される。もう発熱状態で、ぬるま湯でゆっくりつかれるお風呂の温度。28度や29度でも話題になっていた時期が懐かしい。地球温暖化を実感してもう久しい。そしてびっくりするほどの豪雨。「線状降水帯」という言葉ははじめなんのこっちゃと思っていたけれど、毎日天気予報やニュース速報で聞いているうちに耳慣れてきた。川があふれ、道路が水につきり、山が崩れ、家が押しつぶされ、大切な命が犠牲になる。人間が自然を壊してきたツケが地球を苦しめているように私には思える。猛々しく荒々しい姿ではなく、豊かで優しい誰でも包み込んでくれる地球にどうしたら戻れるのだろうか。

〈怪しいマイナカード〉

秋には紙の健康保険証を無くすと政府は言っている。マイナナンバーカードと一緒に使って中山さんの連載にも書かれてるように、写真付きなら写真撮影が必要。そこにある困難がリアルに書いてある。ホントに大変です。そんな苦労を国は全くと知らないのでしょうか。でも健康保険証代わりだとしたら命のお守りと同じだから無視はできない。ホントに使えなくなったらどうしたら良いのだろうか。いや、使えなくなる前に「ダメ」を大声で叫ばなくてはダメ。それにしても、これだけミスが続発してもやめない厚かましさはどこから来るのだろうか。謙虚で遠慮深く、思いやりにあふれた国民性はもはやど

〈無言宣伝の10年〉

こにもないのではと思うほど、この国の政治は間違っても嘘ついてもごめんさいと言わず、改めもしない。でもそれを許してきたのは日本の市民、私たちが。2013年から始まった無言宣伝は今年で10年を迎える。嵐電白梅町駅の前で井上吉郎が秘密保護法に反対して始めた無言の宣伝活動。最初は一人でしたが仲間が増え、今は10人以上の無言宣伝仲間が朝8時前から9時までの時間雨の日も風の日も夏も冬も無言で発信し続けている。5年が経った時、井上が中心となって5周年の記念誌を発行、広く無言宣伝を知らしめた。10年には足跡を残そうと井上は準備してきた。そして入院先から考えたことを電話してきかた。「10年の記念誌には3人の方にメッセージをもらおう」と。9条の会事務局長の小森陽一さん、無言館館主窪島誠一郎さん、自由と平和のための京大有志の会の駒込武さんの3人の名前を挙げた。そしてそれを私に伝えて、託して消えてしまった。遺言はそれだけなので、何が何でも実現するしかない。昨年11月3日憲法記念の集会の記念講演は小森陽一さん。面識なかったけれど体当たりでお願いに行き、快諾していただいた。駒込先生は井上との面識はなかったが、引き受けてくださった。お願いのお手紙などを送った窪島さんからは全く音沙汰なし。さてどうするかと思案した結果、直談判しかないと信じて訪問。たまたまおられた窪島さんに誠意お願いをして、引き受けてくださった。7月初め、3人の素晴らしい原稿が揃った。実行委員会を作って、全体像をふくらましている。無言宣伝は今も毎週月曜日続いている。戦前のようなこの社会で、黙ってはいられない。(事務局長 池添素)

一人暮らしが始めます!

沖田 友子 (京障連代表委員)

重度の知的障害があり、車椅子の足音を聞いて待っています。

子の息子の一人暮らしは、7月今は、自分なりの測定の順番になり、早くも半年が過ぎました。梅雨末期の大雨や35℃を超える暑い日など、今年の夏はどこまで気温が上がるのか、コロナもまた増えてきているなど、心配は尽きません。

一人暮らしになってから、訪問看護さんに週一回来てもらっています。検温、血圧測定などバイタルチェックをして聴診器で胸やお腹の音を聞いてもらいます。関わる事業所共通の連絡ノートがあり、排便など記録してもらった後は、お薬カレンダーに配薬してもらいます。私が部屋に行く日は、看護師さんが来られるとわかっていて、廊下

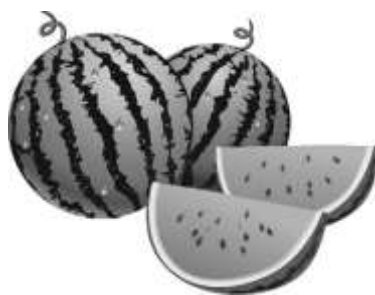
早くお薬を入れて」と伝えたり、一式入ったカバンをもって「はい、もう終わり!」と急かす場面もあります。少しづつ慣れてきたなと感じています。

直接訪問してもらうことで、心強いなと感じているのは、身体の不調時です。先日も少し体温が高く、えずいているとヘルパーさんから連絡がありました。幸いぐったりすることなく、水分はとれましたので、受診するまでもなく、様子を見ながら食事を調整してもらおうことで、回復することができました。私が電話で呼び出されることもありません。ヘルパーさんからへ

ルパーさんへ様子を引継ぎ、何か変化があれば「いつでも電話を」と相談できるところがあることは有難いです。

主治医は生まれた時からもう40年近く診てもらっています。今はとても落ち着いています。が、今後は加齢による病気が出てくるかもしれないと言われていきます。「最近、汗をかく能力が落ちているのではないか」「少し、太ってきているのではないか」などヘルパーさんから教えてもらう情報もあります。いろいろお聞きした情報を共有して、医療者にも教えていただき、確認しながら健康な生活が送れるように皆さんとつながっていきたいと思います。そこで各事業所がつながるよう核になる相談支援の役割が重要だと感じているところです。

おきたともこ
1960年生まれ。大学時代に障害児のボランティア活動に参加し、家族ぐるみの付き合いが始まる。後に障害者支援施設で働き、約15年間相談員として従事。フルタイムのため障害のある子どもが学童に入所するための運動に参加。現在、生活介護管理者。



電動車いす「まんまる号」

ドライバー日記 ⑮

山本耕平

最近、ある機会が極端に少なくなってきたことを寂しく思っています。それは、精神障がいのがなかま達や、ひきこもり

のなかま達の自宅を訪問し、生きづらい彼らの生活場面と直面する機会です。かつて、その機

前任教の教員から紹介され、その少し前から相談を受けていた方でした。雄一君（20代後半）の母親（50代前半）は、半年ほど前から、鎖骨や胸骨を骨折する暴力を受けていました。昨夜は、彼女の母が暴力を受け、警察の介入を受けたのですが、警察がやってきた時には落ち着いていて事件にはならなかったようです。これは、いくら五感が緩んできたとは言っても放置できない危機である

これは、書を読むような返答が帰ってきました。じれったいですね。少し前までなら、ステッキをつき現場に駆けつけたでしょうか、まんまる号ドライバーとして高度なドライブ技術を持たない今は、そうもいきません。どうも、まんまる号に現場に行つて欲しいとお願ひし、タクシーと電車を乗り継いで急いで現場に行く勇気が、今は、まだ育っていません。

私が専門としているひきこもりは、なんらかの危機との関わりでSOSが入ることが多いものです。相談後に直面する危機的な状態にある暮らしの場面は、五感で受け止め、冷静に判断しないと、適切な介入ができません。しかし、最近、どうも磨いてきた五感が緩んできたのではないかとの不安を感じて

この方は、隣県にお住まいですが、こんな時に困るのが、その県の精神保健福祉担当者が持つ感覚と私の感覚の相違です。「暴力があるのならば、警察に介入して頂いて下さい。その上で、通報があれば、私たちが鑑定の処置を行うのが流れになっています」と、教科

地域で働くソーシャルワーカーとして、毎日のように、危機的な家族を訪問していたのは、もう20年以上前のことです。それ以降、相談は受けるものご

その時、雄一君の母親から「もう、息子と死ぬ」とのメッセージが入ったのです。彼女は、



自宅に訪問することは、ほとん

そんな時、私と連携できる感覚と思いを同じくする市民ソーシャルワーカーが欲しいという強い思いを持ちます。そんな思いを、今回と次回・次々回で書きます。

ジョニーの炸裂日記19

ライスチョウジョナ（イラストレーター）

子供というのは無邪気で素直なもの。車椅子の人を見るとまに反応する子供がいるのはもはや車椅子ユーザーにとつてはあるあるだろう。

以前、そのあるあるについての私の中学生頃の経験をここで記事にさせていただいた。ある子供は私の姿を見て「あれ何？」と言ひ、母親のほうは気を使つて「さあ、なんだろうね？」と答えた。一方で別の親子は、子供が「ママあれ！」と反応したのに対し、母親は「電動だ！すごいね！」とポジティブな受け答えをした。前者のほうは、なぜ母親がそのように答えたかについては色々な解釈の仕方があり、避けるような答え方をしたからといってそれが良くないと

私は思つてはいない。しかし、個人的にはやはり後者のような受け答えのほうが、自分という存在をポジティブに捉えてもらつていくということが伺えるため、非常に気持ちの良い経験だったのである。ただしこれらは15年以上も前の例で、ここ最近の子供の反応、そして親の反応の仕方はまた変わつてきているように思う。最近の例をいくつか書いてみたい。

業生も見受けられた。そこである幼稚園ぐらいの子供が私を指さして一言。

「なんかすごい！」

これには思わず吹きそうになつたが、そういうふうには「すごい」と捉えてくれていることは非常に嬉しいことである。親のほうは突拍子も無い一言にさすがに困つた様子で「な、なんかすごいね！」とだけ答えていたのだが、これで良いのである。

また別の機会では、歩道を歩いていてすれ違つた子供に「あれ、めっちゃ速いやつやん！」と言放たれたこともある。その時親のほうはどう反応したかはよく聞こえなかつたのでわからないが、どちらの例も昔に比べるとかなり変化していることがわかる。

時代が進歩し、社会の意識が少しずつ変化していることがその理由であることは間違いないし、2021年の東京オリンピック・パラリンピックを境に車椅子

や障がいのある人たちの姿をユースやCM、バラエティ番組でも度々見るようになったことで親から教わらなくても「それがなんなのか、なんとなくわかっている」子供が増えた可能性はあるのではないだろうか。

今後人々の意識がさらにどう変化していくのか？期待していきたい。

ライスチョウジョナ

過剰自己貪食を伴うX連鎖性ミオパチー当事者。京都精華大学マンガ学部卒業。ギャグ漫画描き。Webや書籍などで漫画やイラストの仕事しながら、現在はNPO法人境を越えての公式Instagramにて『ジョニーの話』を連載中。ひゆうまん京都では、福祉の視点から表現の分野を考へる文章を中心に書いている。

つれづれあらぐさ

あらぐさ福祉会は長岡京市にある社会福祉法人で、障害のある人たちの暮らしを支える事業を行っています。1986年に無認可の共同作業所を開所して以降、日中の通所から生活の場、ヘルパー事業所等、地域で暮らし続けるために必要なものを作り出してきました。今回の連載開始にあたり、「障害者の喜びと悲しみ、家族の喜びと苦悩、職員の働き甲斐と先が見えない苦悩…そういうことが浮き彫りになればと思います」とお話をいただきました。日々自分が経験していることや感じていることを通して、それぞれの一場面を綴れたらと思います。なお、内容については個人情報に配慮して構成しています。

場面④③ マイナンバーカード用の

写真を撮る

最近ニュースで取り上げられている「マイナンバーカード」。一時期、ご家族から「みなさん、どうしていますか」の問い合わせが続きました。健康保険証廃止に関連して、「通院に支障が出ると困るので」との声も聞かれました。

それぞれの判断で作成するかどうか検討される中、申請に必要な顔写真の相談がありました。マイナンバーカードの顔写真には、いろいろなチェックポイントがあります。立位や座位が保てない等、障害のある方の（やむを得ない理由）による対応については、別途示されています。ただ、これらの理由に該当するわけではないものの、初めてのことや理解しにくかったり普段と異なることが苦手だったりする人がいます。証

明写真機や自宅での撮影が難しい人は、ご家族からの依頼で写真撮影を行いました。

一人目の彼女は、写真を撮る時に「必ずピースして、口を開けるので」とご家族。「平常の顔貌と著しく異なる」ものは、顔写真として不適切ということですが、普段過ごしている部屋で撮る方が不安も少ないと考え、背景になる壁を探しました。「背景に柄があるものは不適切」とはいうものの、電気のスイッチがあったり腰壁だったり「無背景」の壁はありません。協力してくれた職員が白い布を取り付けたり撮影用のライトを用意したりして、ちよつとしたスタジオオ仕様となりました。

彼女にはカードを作るのに写真が必要なことを事前に伝え、イラストを見せながら顔写真の説明をしました。しばらくじっと見て、考えている様子。何回か撮影した方がいいのかなあと思っていたのですが、いざ始めてみると気をつけの姿勢・真正面・真顔です。これにはびっくり、彼女の協力に応えられるよう連写ボ

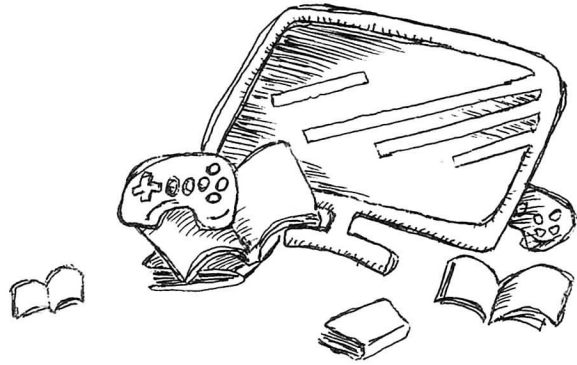
タンを押ししました。

二人目は、発表や出番が大好きでカメラを向けるとポーズを決める彼です。彼と付き合いの長い職員に相談して、いつもと違う特別感・1回限り・モデルを示しての形で臨みました。カメラを持って呼びに行くと、「わかりました」と彼。立ち位置に案内して「こんな感じ」と説明すると、すぐに状況を把握したようです。しかし、ここで気づきました。彼は眼鏡をかけていて「眼鏡のフレームが目にかかっている」のですが、これではマイナンバーカードに使用できません。また、「照明が眼鏡に反射している」のも不適切とされています。とつさに、「今回は、眼鏡なしでお願いします」と声をかけました。相談に乗ってくれた職員が卓上ライトを持ってきて場を盛り上げ、無事撮影は終了。後日ご家族から「前に撮ってもらって」と連絡があったのですが、眼鏡をかけていない顔写真は見慣れなくて不思議な気持ちでした。

2+2=詩

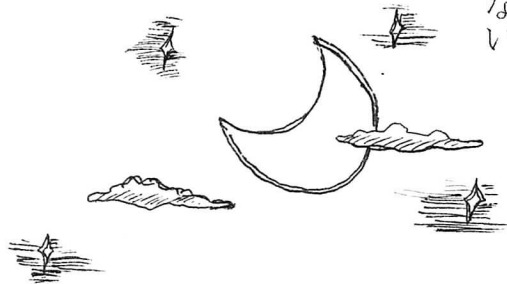
「幸福な生」

食事はいらぬ
本がほしい
衣服はいらぬ
テレビがほしい
睡眠はいらぬ
ゲームがほしい
刺激の中に居させておくれ
嫌なことを思い出す退屈はいらぬ
安らぎの中に居させておくれ
好きなことだけに溺れられる以上の
幸せなどないのだから
目が足りない
もつと目があれば、もつとたくさんの本を読めたのに
耳が足りない
もつと耳があればもつとたくさんの音楽を聞いたのに
手が足りない
もつと手があればもつとたくさんのゲームができたのに
体がたりない。時間がたりない
やりたいこと、気になつてること
全てやり尽くすにはすべてが足りない
それは仕方のないことだ
ああ、とてもとても忌々しいことだ



「夜の散歩」

夜の散歩に誘われて乗った記憶はあまりない
煩わしいと断った。
しんどいからと断った
今、夜の散歩に誘っても
乗ってくれることはあまりない
歩き続けるのがしんどいから。
体の節々が痛むから
寂しい。いたたまれない。申し訳ない
合っているような、違うような、
何かがずれているのかもしれない感想が
ないまぜになつて胸の中で渦巻く
あの日、あの夜、誘いに乗っていけば。
誘いに乗った回数が一度でも多ければ、
この気持ちは少しマシになるのだろうかなんて、
考えても答えは出てこないけど
願わくばこれから、一度でも多くその回数が
積み重ねられますように
気づけば置き去りにしてしまふような母を
電灯の下で振り返って待ちながら
そんなことを祈った



365歩のマーチ



40 相手の気持ちに

思いを馳せて

以前、わが家にも押し寄せたWBC熱以降、大谷選手と野球にはまっていることを書きました。今も変わらず野球ブームは続いており、父が仕事から帰ってくるとテレビのチャンネルを阪神戦に変えてくれ（父は阪神ファン）、

「とおと、野球みたいでしょ」「ゆいちくんの野球も見て」と寝室での野球に誘ってきます。本人は大谷選手になっているつもりですが、

誕生日にはどうやらグローブがほしいようです。おじいちゃんおばあちゃんにお願いして念願のグローブを買ってもらえるこ

とに。ゆいちくんは左利きなので、右手につける子ども用グローブが必要なのですが、ネットで探してもなかなかありません。あ、あった！と見つけてゆいちくん「これはどう？」と伺うと「赤がいい」とリクエスト…、お気に召すものがなく色や形など選択肢が限られています。昔よりはマシンになっているかと思いますが、今後いろんな場面で見やがおうにも左利きを意識する場面に会おう気がします。

*

「○○くんとラQで消防車をつた」「今日さく○○君と△△ちゃん休みやった」。保育園でのきごとなどいろんなことをお話してくれたり、「○○はにがやねん」と自分の気持ちごとばで



伝えることがじょうずになってきました。その分、母がいない時に父が「悪い」ことをすると「あ、ママに言おつかなあ」と告げ口でおどしをかけてきて父の反応を楽しんでいるなど、口が達者になってきました。今までは自分の思ったこと、自分の思いのたけを表現するだけでしたが、最近では、自分の思いだけではなく、相手の気持ちをくぐって考えたりお話しするようになってきました。父はいつも、ゆいちくんをくすぐったりた

かいたかいたり…、家のなかで大騒ぎで遊んでいます。ある日、ゆいちくんをくすぐって遊んでいたら、それが過ぎたように笑い転げながらゆいちくんが「とおとも、そんなんされた、いやでしょ」と一言。その瞬間、父は、「あ、ほんとにそうですね」とくすぐっていた手を止めてしまいました。私も巨人にくすぐりたおされたらいやだな…。ゆいちくんからしたらそうだよな。ゆいちくん、相手の立場に立って考えることを教えてくれてありがとう。

あんどろしろう

京都市在住。大阪の寝屋川市にある児童発達支援センターで発達相談員として働いています。子育てを通して、パートナーや自分の価値観と向き合いながら四苦八苦。ひゅうまん京都の編集もお手伝いさせてもらっています。

ありがとうございます

会費
分担金

恵島千恵子・馬場勝幸・山田智子

自由法曹団京都支部・京都市職員労働組合・京都自治労連 (敬称略 2023.7.10)

1992年6月5日第3種郵便認可(毎月1回25日発行)
2023年7月25日発行
KTK通巻5394号

〒602-8144

発行所 京都市上京区丸太町通黒門東入藁屋町536-1 元待賢小学校1階 京都難病連内
京都障害者団体定期刊行物協会 発行人 高谷修 (購読料は会費を含む)

知っ得情報 レンタカーの障害者割引

代表委員 松本 美津男

割引率が良いとは限りませんが、障害者割引を実施しているレンタカーを紹介します。

(①適用条件等②割引内容③無料の予約問い合わせ電話番号)

ニッポンレンタカー

- ①介護保険受給者・身体障害者手帳保有者・療育手帳保有者及び介助者。
- ②車種と利用時間によって割引額が異なる
- ③0800-500-0919

トヨタレンタカー

- ①身体障害者手帳、療育手帳又はスマートフォン向け障害者手帳アプリを提示した人が運転もしくは同乗する場合。
- ②基本料金の10%割引。トヨタレンタカーWeb サイト/アプリ以外からの予約に限られ、対象とならない車種・店舗あり。
- ③0800-7000-111

オリックスレンタカー

- ①身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者及び介護人・児童福祉法に規定する諸施設に養護または保護を受けている人及びその付添人で被救護者割引証を提出した人。
- ②プライムメンバーズクラブ加入で最大30%割引。32,000円以上の利用で一部キャッシュバック。他の割引との併用不可。
- ③0120-30-5543

あなたもぜひ
仲間に



サロン・サークル・地域活動展開中
生活支援スタッフ(資格不要)募集中
介護職員(資格要)募集中

ひとりぼっちの高齢者をなくそう
元気な高齢者はもっと元気に
「よろず相談」承ります(随時)



あなたも支える存在に
京都市北区紫野東野町1-5
電話075-432-3636

命の平等をかけた、
無差別平等の医療と
福祉の実現をめざす

働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を
目指す方をご紹介ください



京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階
TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017
Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>
e-mail: info@kyoto-min-iren.org